

令和七年 一・二・三月の詩

はじめて小鳥がとんだとき

原田 直友

はじめて小鳥がとんだとき

森はしいんとしずまった

木々の小えだが手をさしのべた

うれしさと不安で小鳥のおねは

どきんどきん大きくなっていた

「心配しないで」と かあさん鳥が

やさしくかたをだいてやった

「さあ おとび」と どうさん鳥が

ぽんと一つかたをたたいた

はじめて小鳥がじょうずにとんだとき

森は はく手かつさいした

